



市議会

— 2022.11.1 No.215 —

だより

9月定例会

物価高対策関連経費等の
補正予算案を可決!



甲府城天守台からの甲府市街地

交流会を開催しました!



つなげていくことを目的として、意見交換会を実施しています。



「市民と議会の交流会」概要

日時 7月22日(金) 午後6時30分～

場所 甲府市役所4階 大会議室

テーマ SDGsと未来の甲府

～女性・若者の視点から～

- 参加者
- ・日本女性会議 2021in 甲府の運営に携わった方々と若者世代(18人)
 - ・甲府市議会議員(11人)

SDGs推進課の職員によるSDGsの説明の後、テーマについて、意見交換を行いました。

子ども・教育

不登校の生徒のサポートを市が主体となって進めてほしい。



若者の就職

山梨に働ける場所、スキルを活かすチャンスのある場所がもっと必要だと思う。

ジェンダー平等

ジェンダーに関しては、日常生活でも「男だから」「女だから」との思い込みに触れる機会が多く、おかしいと思ったら指摘した方が良い。

郷土愛の醸成

郷土愛が大事。郷土愛があると山梨に帰ってきたり、山梨に留まって仕事をしようという意識が高まる。





市民と議会の交

甲府市議会では、皆様からの意見を議会内で研究し、政策提言に

交流の機会

現在、世代を超えての考え方の共有ができていないため、世代間のつながりをつくる機会があると良い。



SDGsの啓発

様々なイベントを活用してSDGsをアピールすると良い。

コラム

いつまでも元気で長生きしたい

—健康寿命を延ばすために—

健康寿命とは

介護や支援を必要とせず健康上問題なく生活できる期間のことです。厚生労働省から発表された令和元年における平均寿命と健康寿命の差は男性で8.73年、女性で12.06年(図参照)です。高齢期の8年間から12年間は何らかの介護・介助が必要となります。健康寿命を延ばして、この期間を短くすることが大切です。

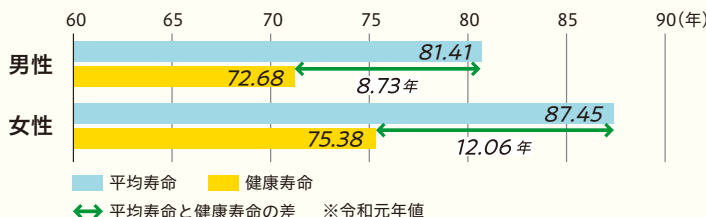
健康寿命を延ばすためには、筋肉量を増やすこと 維持していくことが大切

そのために運動・食事・睡眠が大切であることを、甲府市福祉保健部健康政策課主催の「健康リーダー養成講座」(昨年度第1期開催・今年度第2期開催)で学びました。日頃から運動に取り組むこと、普段の生活の活動量を増やすこと、歳を取っても必要なたんぱく質を摂ること、十分な休息(睡眠)をとることなど、生活を見直すことで「いつまでもいきいき」を目指しましょう。

健康寿命を延ばすためには、健康格差の縮小も重要とされています。

厚生労働省の健康政策「健康日本21」は、「個人の健康は、家庭、学校、地域、職場等の社会環境の影響を受けることから、社会全体として、個人の健康を支え、守る環境づくりに努めていくことが重要」として、健康格差(地域や社会経済状況の違いによる集団間の健康状態の差)の縮小を目指しています。

広聴広報委員 木内直子



(注) 女性の平均寿命 87.45 年と健康寿命 75.38 年の差は 12.07 年となりますが、厚生労働省の発表値は 12.06 年となっています。
 出展：第16回健康日本21(第二次)推進専門委員会資料

9月定例会

市政に

関する

質問



一問一答…一問ごとに質疑
応答を行う。

分 割…質問項目ごとに
質疑応答を行う。

一 括…質問項目すべて
を質問し、一括
で答弁を行う。



創政こうふ
代表質問(分割)

山中 和男

Q 小規模公園愛称設定 の制度化

地域の魅力向上について、
小規模公園に愛称を付ける
ことにより、一層愛着が深
まり、持続可能な公園にな
ると考えますが、愛称設定
の制度化について伺います。

A 子どもや子育て世代など
をはじめとする多くの住民
の皆様にも、公園に愛着を
持っていたり、公園に愛着を
持つていただくことで、自
治意識の高揚や連帯感を醸
成し、地域の魅力向上につ
なげるよう、公園の特徴や
地域の歴史・文化等を踏ま
え、愛称を設定できる制度
を創設し
てまいり
ます。



Q 不登校への対策

誰一人取り残されない社
会の実現を目指す中で、大
きな課題となっている不登
校児童・生徒数の増加への
対策について伺います。

A 不登校児童・生徒が自ら
の進路を主体的に捉え、社
会的に自立することを目指
し、学習支援はもとより、
教員やスクールカウンセ
ラー等による保護者への相
談体制を充実させ、民間施
設との連携についても調
査・研究を進める中で、不
登校に関する様々な対策に
鋭意取り組んでまいります。
■その他の質問事項
・リニア中央新幹線駅周辺
の整備について 他

質問
動画





公明党

代表質問(分割)

長沢 達也

市営納骨堂・合葬式 墓地の設置

Q

お墓を引き継ぐ人がいない家庭が増えており、経済的な負担も少なく済む公営の納骨堂・合葬式墓地を望む声が多くありますが、見解を伺います。

A

つつじが崎霊園内には、納骨堂・合葬式墓地を設置するスペースがないため、現時点では、設置が難しい状況であると考えています。一方、核家族化の進行等により、利用者ニーズの変化なども想定されることから、今後も、墓地を取り巻く環境の動向を注視する中で、長期的な視点に立って対応を検討してまいります。

Q

線虫がん検査への補助

微量の尿でがんの有無を判別できる、線虫を利用したがん検査について補助を求め声がありますが、見解を伺います。

A

「線虫によるがん検査」は、がんの早期発見を目的とし、手軽で身体への負担もかからない検査方法であると認識していますが、本検査の有効性について明確なエビデンスが現時点では示されていないことから、今後の国や他自治体の動向を注視してまいります。

■その他の質問事項

- ・「連携中枢都市圏」形成への今後の取組と効果について 他

質問動画



こうふ未来

代表質問(分割)

廣瀬 集一

こども家庭庁と甲府市 子ども子育て支援計画

Q

甲府市子ども・子育て支援計画が国のこども家庭庁創設の理念に対応しているかについて伺います。

A

計画の策定にあたり、子育て家庭への調査により本市の特性を把握し、育児の孤立化に対する支援の取組や、子育てを応援する団体のネットワーク化等とともに、幼稚園などのサービス需要等の設定を行いました。今後の行政運営では、受動的にサービス提供を受けられるプッシュ型支援と、行政が主体的に動くアウトリーチ型支援を強く意識し、子ども・子育て支援の充実・強化に努めてまいります。

Q

こども基本法と甲府市 子ども未来応援条例

二つの法令を比べると、本市の子育ち・子育て支援への先進的な取組が読み取れますが、推進体制である「子ども応援会議」と権利支援体制である「子どもの権利擁護委員」の活動について伺います。

A

子ども応援会議は、子育てを応援する団体の連携を図るため、これまで3回開催し、子どもの権利擁護委員は、講演会等により、子どもの権利への理解を深める機会を創出しました。今後も、子どもたちの権利が尊重され、健やかに成長できるまちを目指し、取組を推進してまいります。

質問動画





日本共産党
代表質問(分割)

清水 英知

質問
動画



介護サービス提供の迅速化

Q 容体が急変する危険が高い終末期にある方が、申請時から要介護2相当のサービスを使えるようにすることを求めます。

A がん末期等の方には、暫定ケアプランによるサービスの提供により、迅速な対応に取り組んでいます。

また、「介護用ベッド」等福祉用具の貸与では、急速な状態悪化等が見込まれる方への例外給付を認めるなど、状態に応じて必要なサービスを提供しています。

学校給食費無償化

Q 小中学校両方での実施が県内で11市町村に増えてい

ることから、甲府市においても学校給食費無償化を求めます。

A 本市では、経済的な支援が必要な世帯には、就学援助制度による学校給食費等の支援を行っています。

今後も支援を必要とする世帯の負担軽減に努めながら、現行制度を維持してまいります。



■その他の質問事項

- ・ 国葬に伴う弔意表明について
- ・ 国民健康保険について
- ・ 米軍機による空中給油について

子ども・子育て政策

Q 樋口市政の最強のカラーである「子ども・子育て政策」の今後の推進について伺います。

A 子どもの居場所に通じる多機能施設の整備等や、「すこやか子育て医療費助成制度」の対象年齢の拡大をはじめとする保護者の経済的負担の軽減等、「子ども・子育て政策」の両輪をなす「子育て応援」と「子育て支援」との各施策を進化・充実させ、子どもたちの笑顔があふれるまちづくりを更に前へと進めてまいります。



政友クラブ
代表質問(分割)

深沢 健吾

質問
動画



「ふるさと納税」の活用

Q 「ふるさと納税」の更なる活用に対する取組について伺います。

A ふるさと納税型クラウドファンディングの活用をはじめ、甲府市の返礼品を年間を通じて楽しめる「甲府市ふるさと応援・年間パスポートパック」の創設等により、ふるさと納税未経験者の掘り起こしを図り、ふるさと納税の更なる活用による自主財源の確保と地場産業等の更なる振興に取り組んでまいります。

■その他の質問事項

- ・ 脱炭素社会に向けた取組について
- ・ 医療と介護の連携体制について 他



創政こうふ

一般質問(分割)

天野 一

防災意識の向上に役立つ災害ハザード情報の3D可視化

Q 災害ハザード情報の3D可視化は、防災意識の啓発や災害計画の高度化等が期待されますが、本市の取組について伺います。

A 国が取り組んでいる「プロジェクトプラトール」は、2次元の図形情報から3次元データを作成することで、現実の都市を仮想空間に再現する3Dモデルを整備し、都市活動のプラットフォームとして公開するものです。この取組は、今後の道路整備において街並みの3Dによる可視化など都市計画の立案における高度化や、人の流れなどによる都市活

質問動画



動のシミュレーション、分析等を行うことが可能となり、将来的に様々な次世代事業に発展する可能性があることから、国と連携し、今年度中に本市の3D都市モデルを市ホームページで公開する予定です。

今後は、安全・安心なまちづくりのより一層の推進を目指し、防災意識の啓発や適切な避難行動につなげるよう、地域住民への研究会や市内の公立小中学校での「子どもBOUSAー教育こうふ」等で活用してまいります。

■その他の質問事項

- ・ 悠遊館等への無線LAN環境整備について 他



創政こうふ

一般質問(分割)

小沢 宏至

消防団を取り巻く環境

Q 分団運営や詰所建替え等への支援について伺います。

A 分団運営に対する支援として、活動に伴う必要物品や分団本部拠点施設等の維持管理経費として「分団運営費」の補助、活動服や活動用資機材等の購入、公務災害補償等を行っています。また、自治会が管理する施設の建替え等に対し、消防団消防施設整備費補助金により300万円を上限に各自治会が支出した経費の2分の1を補助しています。今後も、消防団の活動を支える詰所の安全確保を図るとともに、災害時に十分に機能できるよう、順次、整備を進めてまいります。

質問動画



民間保育施設における人材確保

Q 保育士等の確保への支援について伺います。

A 近年、民間保育施設における人員不足は、大きな課題とされており、本市としても、山梨県の「やまなし保育士・保育所支援センター」等との連携を深めるとともに、保育施設が自園の理念や活動内容、特色などをアピールできる機会づくりや情報発信手法、また、潜在保育士や保育士を目指す学生と各施設を結び付ける場の創出を検討してまいります。

■その他の質問事項

- ・ デジタルーDの導入について 他



創政こうふ

一般質問(分割)

望月 大輔

物価高騰への支援策

Q 原油・物価高騰の影響を

受ける市民や事業者に対して、支援策を講じていくべきと考えますが、今後の取組について伺います。

A 今般の物価高騰は、市民

の皆様が暮らしや、事業者の皆様がの事業活動に対して影響を及ぼしており、高い危機感を持って対応すべきであると認識しています。

また、長期化が見込まれる物価高騰への対応を図るため、国の追加策も踏まえ、地方創生臨時交付金等の財源を最大限に活用する中、市民や事業者の皆様を不安を緩和し、安心につながるよう、更なる効果的な支援策の早急な検討を進めます。

質問動画



地場産業に特化した組織体制

Q 本市の地場産業品に特化した「(仮称)ジュエリー課」等の組織の設置について、見解を伺います。

A 本市では、商工課に産業育成係を設置し、商工業の活性化策の推進に向けて、地場産業・伝統産業を支援し、産業基盤の確立と販路拡大等に取り組むとともに、ふるさと納税課の新設により、地場産品の認知度向上に努めているところであり、こうした現状の組織体制の更なる充実に努める中で、調査・研究してまいります。

■その他の質問事項

・「宝石のまち甲府」の推進 他



公明党

一般質問(分割)

植田 年美

ひとり親家庭への支援

Q ひとり親に寄り添った就業支援等について伺います。

A 民間の専門的スキルやノウハウを活用した手法等、更なる自立支援の充実に向け、国や他都市の状況等を調査・研究してまいります。

認知症の早期発見とその家族への支援

Q 認知症の早期発見サイト及び地域の認知症サポートチーム等と認知症の方をつなげるチームオレンジの導入について伺います。

A 認知症の相談の際、必要に応じてスクリーニングを行い、「もの忘れ相談医」等への受診につなげ、認知症の早期発見・早期治療に

質問動画



小学校への冷水給水機

Q 引き続き努めてまいります。また、チームオレンジについては、関係者と協議・連携を図り、設置を進めてまいります。

A 登下校時の児童の荷物の負担軽減と感染症予防のために、非接触型冷水給水機を小学校に設置すべきと考えますが、見解を伺います。

A 登下校時の児童の負担軽減や熱中症予防等への効果が考えられることから、引き続き他都市の導入状況等を調査・研究してまいります。





こうふ未来

一般質問(分割)

川崎 靖

甲府大好きまつりの開催場所

Q 中心街の活性化等、将来を見据え「甲府大好きまつり」を再び中心街で開催すべきと考えますが、見解を伺います。

A 本年についても、11月5日土曜日に、小瀬スポーツ公園を会場として開催予定であり、多くの市民の皆様楽しんでいただける祭りとなるよう、鋭意準備を進めています。
また、開催後には、来場者や参加者のご意見を基に、多角的な検証を行い、来年以降の甲府大好きまつりも、より良い祭りとなるよう努めてまいります。



湯村山の烽火台のろし

Q 湯村山の烽火台と周辺整備及び湯村温泉への遊歩道の整備について伺います。

A 烽火台の整備を契機とした周辺の整備は、烽火台設置場所やその周辺が主に県有地となっていることから、必要に応じて山梨県と協議を行う中で、環境の向上に努めてまいります。
また、遊歩道は、現状のルートの特性を活かす中で、案内表示の設置等、安全確保に努めてまいります。

質問動画



こうふ開府500年記念事業と今後の取組

Q こうふ開府500年記念事業への市長の所感と今後の取組について伺います。

A 6年間にわたり開催した30を超える事業は、携わった皆様の熱い思いが込められたものであり、本市を県内外にPRするとともに、郷土愛の醸成に大きくつながったものと感じています。
こうした成果を次世代につなげていくため、「私の地域・歴史探訪」等を「レガシー事業」として実施するとともに、12月には「こうふ開府の日」を記念したイベントを開催し、更なる郷土愛の浸透に向けた取組も進めてまいります。



政友クラブ

一般質問(分割)

池谷 陸雄

「健康都市宣言」後の取組

Q 「健康都市宣言」の実効性を高めるための取組と今後について伺います。

A 自分の健康を守る意識の醸成や地域住民の行動変容を促す人材の育成、地域や企業の健康づくりの活性化等、市民の健康を支援することが重要と考え、令和3年度より「健康ポイント事業」等を実施しています。
今後は、各取組の参加者からの意見等を踏まえる中で、事業の検証を行うとともに、壮年期層の参加促進や民間活力の活用等による事業の更なる深化を図り、「元氣Cityこうふ」の実現に邁進してまいります。

質問動画





友友クラブ
一般質問(分割)

末木 咲子

質問
動画



中心市街地活性化と 小江戸甲府城下町整備

Q 小江戸甲府城下町整備プランを中心市街地の活性化に結び付ける取組について伺います。

A 小江戸甲府城下町の整備に加え、遊亀公園附属動物園等の整備を進める中、民間主体によるまちづくり活動等への支援により、中心市街地での賑わいの創出や滞留性・回遊性・連続性の向上を図り、観光客や市民の皆様方を呼び込んでまいりたいと考えています。

甲府城東側エリアの観光資源の活用

Q 小江戸甲府城下町整備と甲府城東側エリアの観光資源

源の連携について伺います。

A 甲府城周辺地域に整備する歴史文化交流施設等と甲府城東側エリアを含む周辺地域の観光資源等との連携により、誘客を促進し、まちの賑わいの創出と観光振興を図ってまいります。

自治会への女性の参画

Q 女性の自治会活動への積極的な参画は、大きな意義のあることと考えますが、見解を伺います。

A 市内の自治会や各種地区組織で活躍されている女性について、様々な情報媒体を通じて紹介することで、地域で輝く女性の始めの一歩を後押しし、男女が共に活躍できる地域づくりを進めてまいります。

中小零細経営者への支援措置

Q 中小零細経営者へのコロナ禍に伴う公的融資期間猶予の継続及び法人市民税の通常よりも高い制限税率の廃止または不均一課税の導入について伺います。

A 「甲府市中小企業振興融資」の利用者へ、融資条件変更の特例措置等を活用した償還猶予等を継続し、「新型コロナウイルス感染症関連借換融資」の継続実施等を山梨県に要望しました。また、本市の法人市民税における法人税割の税率は、本市財政計画等を勘案し、制限税率としています。今後も、公平適正な課税を行い、安定的な財源確保



社会民主党
一般質問(分割)

山田 厚

質問
動画



有価物回収に係る自治会への報奨金

Q 金属類の価格が高騰する中、有価物回収に係る自治会への報奨金と買い上げ単価が上がっていないことについて伺います。

A 有価物回収に係わる自治会等の収入は、市の報奨金と有価物収集事業者への売払金で構成されています。現在、国際情勢等の変化に伴い、金物類等の市場価格が大きく変動し、自治会等からの買い上げ単価と市場価格に乖離があるため、単価の見直しを協議中です。今後も、自治会等の有価物回収が維持できるよう支援に取り組んでまいります。



議案審査・審議

議案は、総務・民生文教・経済建設・環境水道の各常任委員会に付託され、専門的な審査を受けた上で、本会議において審議されます。

なお、全議案の審議結果は、14 ページに掲載しています。

議案
第 88 号

物価高騰の影響を受ける世帯等への 支援等

令和4年度甲府市一般会計補正予算(第7号)

〈民生文教委員会 付託〉
〈経済建設委員会 付託〉

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を特に受けている低所得世帯(住民税非課税世帯等)・子育て世帯・高齢者に対する給付金を支給するための経費、物価高騰等による負担増を踏まえ、事業応援金プラスを受給した事業者に対する応援金を支給するための経費等の補正予算です。

このことに対し、経済建設委員会において、事業者を対象とした応援金の支給にあたっては、迅速かつ丁寧な対応に努めるとともに、今回対象とならない事業者の状況を把握する中、新たな支援策等の検討を求めました。

なお、採決の結果、各常任委員会において、当局原案のとおり可決されました。

議案
第 72 号

公衆浴場の基準に係る条例の改正

甲府市公衆浴場法施行条例の一部を

改正する条例制定について

〈民生文教委員会 付託〉

国の「公衆浴場における衛生等管理要領」において、レジオネラ対策に係る最新の知見が反映されたことや男女混浴の制限年齢の目安が引き下げられたこと等に伴い、レジオネラ属菌を発生させない仕組みを構造設備の基準に加えるとともに、男女混浴の制限年齢を「10歳以上」から「7歳以上」に引き下げることに等しいとして条例を改正するものです。

なお、採決の結果、当局原案のとおり可決されました。

議案
第 65 号

証明書等発行窓口へのキャッシュレス 決済の導入

令和4年度甲府市一般会計補正予算(第6号)

〈総務委員会 付託〉
〈民生文教委員会 付託〉

証明書等の発行手数料を取り扱う窓口へ、キャッシュレス決済及び自動釣銭機付きレジを導入し、接触機会の低減により感染症の拡大防止を図るとともに、利用者の多様な決済手段を可能にするための経費の補正予算です。

なお、採決の結果、各常任委員会において、当局原案のとおり可決されました。

議案
第 65 号

「昇仙峡」夢の松島及び要害山登山道入口への仮設トイレの設置、市道昇仙峡線に係る落石監視システム等の設置

令和4年度甲府市一般会計補正予算(第6号)

〈経済建設委員会 付託〉

落石によりトイレが使用不能となつている「昇仙峡」夢の松島とともに、要害山の登山道入口に仮設トイレを設置するための経費、落石により付近を全面通行止めとしている市道昇仙峡線の迂回路通行開始に伴い、観光客等の安全性の確保を図るための落石監視システム等を設置するための経費の補正予算です。

このことに対し、委員会としては、落石箇所早期復旧を目指すとともに、落石対策については、引き続き地元住民等の理解を得る中で進めていくよう求めました。

なお、採決の結果、当局原案のとおり可決されました。

令和3年度 決算審査 特別委員会 審査の概要

◇決算審査特別委員会

委員長	神山玄太
副委員長	天野 一
委員	原田洋二
	鈴木 篤
	坂本信康
	鮫田光一
	金丸三郎
	岡 政吉
	寺田義彦
	兵道顕司
	堀とめほ
	藤原伸一郎
	木内直子
	山田弘之



決算に関する議案は、決算審査特別委員会に付託され、専門的な審査が行われます。

（会議録は、11月末頃から甲府市議会ホームページでご確認いただけます。）

PICK UP 1

「子ども輝くまち」の取組

「子ども輝くまち」の取組についての質問に対して、令和3年度は子どもたちの元気な成長を応援する「甲府スタイル」である子育て応援の中心的な3つの取組を実施させた年であり、「運動遊び」では、おしろらなどの開設により、子どもたちの心身の健康づくりの環境を整備し、「子ども応援団体等との連携」では、新設したプラットフォームによる子ども応援団体等のネットワーキングにより団体相互の交流が深まり、新たな活動を生むなど、子ども応援活動の活性化につながっており、「子どもの権利擁護」では、子どもの権利擁護委員を中心に充実度を高め、初の試みである子どもの権利セミナーを開催するなどの子育てを応援する取組のほか、子育て支援においても、コロナ禍における給付金等による家計負担の軽減に努めるとともに、妊婦一般健康診査などの各種検査費用の負担緩和をはじめ、他の取的屈折検査機器の導入による幼児の視力異常の早期発見・治療への取組、不安を抱える多胎妊産婦へふたご手帖を配布して精神的負担を和らげるなど、妊娠期から子育て期にわたる多方面からの切れ目のない支援を行ったとの答弁がありました。

PICK UP 2

重度心身障害者タクシー利用料金助成事業

重度心身障害者タクシー利用料金助成事業における追加交付についての質問に対して、令和3年度から交付分を使い切った方から新たに追加交付の申請を受け付けたところ、363人から申請があり、追加交付した3,730枚中80%以上が利用されたことから、効果的な支援につながったものと考えているとの答弁がありました。

これに対し、障がい者の移動支援に有効な本事業をより拡充していくため、引き続き山梨県に助成対象基準額の改定を強く要請していくよう求める意見がありました。



雇用促進の取組

雇用促進の取組についての質問に対して、ワークプラザ甲府での相談業務等を実施するとともに、甲府市就職応援合同企業説明会や地元企業紹介事業等に加え、新たに甲府市インターンシップ受入助成金事業を実施するなど、地元企業と学生等との更なるマッチング機会の創出に努めたとの答弁がありました。

決算審査特別委員会からの意見

委員間の討議により、来年度予算への反映を求めるべきもの等として集約した委員会の意見は次のとおりです。

《総務費》

- 誰もが安全で安心して暮らすことができる住みよいまちづくりを推進するため、自治会で活躍する人やその活動を評価、応援することを通じて、自治会活動への住民理解を広げていく仕組みを構築し、住民にとって最も身近な組織である自治会がその活動を維持・継続していくことができるよう取り組んでいくこと。

- 庁内のペーパーレスの取組を推進するため、紙媒体に頼らない事務執行を目指し、より一層のデジタル化を進めること。

- 業務内容や業務量の見直しによる職員の適正配置や労働生産性を高めるICTツールの積極的な導入、可能な限りの職員の採用などにより、職員の労働環境を見直すことで超過勤務時間の削減を果たし、職員の働き方を改善すること。

《民生費》

- すこやか子育て医療費助成、ひとり親家庭等医療費助成及び重度心身障害者医療費助成の実施に係る国庫負担金減額調整措置の改善について、引き続き様々な手段を通じて国に強く要望していくこと。

《衛生費》

- 動物愛護の取組に関して、体制の強化や施設整備を行い、殺処分ゼロを実現すること。

- ごみの減量化をより積極的に推進するとともに、環境教育の更なる拡充を図り、環境に対する課題解決に向けて市民等と連携して取り組んでいくこと。

《消防費》

- 防災リーダーが、より期待される行動をとることができるよう地域における位置付けを明確にし、地域での活躍の場を創出すること。

《交通災害共済事業特別会計》

- 交通災害共済は、安価な負担で加入でき、市民生活の安心に寄与しているが、加入者が減り続けると制度の維持が難しくなることから、より一層の制度の周知や加入方法の見直しに取り組む、加入促進を図ること。

《住宅新築資金等貸付事業特別会計》

- 昨今の低金利下における状況に鑑み、引き続き山梨県に対して相場に見合った利率の見直し、利子の減免及び繰上償還を強く要望すること。

令和4年9月定例会 審議結果

議案番号	件名等	議決月日	結果	政友クラブ	創政こうふ	公明党	こうふ未来	日本共産党	社会民主党	無所属
補正予算	議案第64号	専決処分について(令和4年度甲府市一般会計補正予算(第5号))	9月15日	承認	○	○	○	○	○	○
	議案第65号	令和4年度甲府市一般会計補正予算(第6号)	〃	可決	○	○	○	○	×	△
	議案第66号	令和4年度甲府市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○
	議案第88号	令和4年度甲府市一般会計補正予算(第7号)	9月29日	〃	○	○	○	○	○	○
条例の一部改正	議案第67号	甲府市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定について	9月15日	可決	○	○	○	○	○	○
	議案第68号	甲府市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
	議案第69号	甲府市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
	議案第70号	甲府市立保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
	議案第71号	甲府市旅館業法施行条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
	議案第72号	甲府市公衆浴場法施行条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
	議案第73号	甲府市学校職員給与条例等の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
	議案第74号	甲府市手数料条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
	議案第75号	企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
議案第85号	特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	
令和3年度決算	議案第79号	令和3年度甲府市各会計別決算の認定について	9月29日	認定	○	○	○	○	×	×
	議案第80号	令和3年度甲府市地方卸売市場事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃	可決及び認定	○	○	○	○	○	○
	議案第81号	令和3年度甲府市病院事業会計決算の認定について	〃	認定	○	○	○	○	○	○
	議案第82号	令和3年度甲府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃	可決及び認定	○	○	○	○	○	○
	議案第83号	令和3年度甲府市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃	〃	○	○	○	○	×	△
	議案第84号	令和3年度甲府市簡易水道等事業会計決算の認定について	〃	認定	○	○	○	○	○	○
人事その他	議案第76号～78号	工事請負契約の締結について	9月15日	可決	○	○	○	○	○	○
	議案第86号	市政功労表彰の決定について	〃	〃	○	○	○	○	○	○
	議案第87号	公平委員会委員の選任について	〃	同意	○	○	○	○	○	○
諮問第1号～第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	〃	諮問のとおり決定	○	○	○	○	○	○	
議員提出	甲議第7号	加配定数の振替によらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書提出について	9月15日	可決	○	○	○	○	○	○
	甲議第8号	自治体が行う医療費の助成に対する国民健康保険国庫負担の減額調整(ペナルティ)の廃止を求める意見書提出について	9月29日	可決	○	○	○	○	○	○

※政友クラブの長沼達彦議員は、一身上の都合により9月29日欠席

○賛成 ×反対 △棄権

甲府市議会党派等

政友クラブ ◎池谷陸雄 荻原隆宏 原田洋二 鈴木 篤
坂本信康 長沼達彦 小澤 浩 末木咲子
深沢健吾 鮫田光一
創政こうふ ◎清水 仁 金丸三郎 興石 修 岡 政吉
山中和男 天野 一 小沢宏至 望月大輔
寺田義彦

公明党 ◎兵道顕司 植田年美 中村明彦 長沢達也
堀とめほ
こうふ未来 ◎神山玄太 廣瀬集一 藤原伸一郎 川崎 靖
日本共産党 ◎清水英知 木内直子
社会民主党 山田 厚
無所属 山田弘之

◎は党派代表者

◎市政功労表彰の決定

本市の発展に尽力され功績が顕著であることから、次の方々を市政功労表彰者として決定する議案が提出され、全員異議なく可決されました。

藤澤恵子(地域福祉の発展と向上)
雨宮登美子(母子保健の充実)

◎人事案件については、次のとおり同意、諮問のとおり決定されました。

- ◆公平委員会委員の選任について
依田道徳
- ◆人権擁護委員候補者の推薦について
長山勝典 平賀数人 河野悦子

(敬称略)

加配定数の振替によらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書

子どもたちが全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請であり、国の施策として定数改善に向けた財源の保障が必要であることから、次の事項について適切な措置を講ずるよう強く要望する。

- 1 小学校での35人学級実施に当たっては、加配定数の振替ではなく、教職員定数の実質的な増員で行うとともに、中学校での35人学級を実施すること。
- 2 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配教員の増員など教職員定数改善を推進すること。
- 3 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国庫負担割合を2分の1に復元すること。
- 4 教育条件の格差解消を図るため、地方交付税を含む国における教育予算を拡充すること。

提出先

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣
財務大臣 文部科学大臣

自治体が行う医療費の助成に対する国民健康保険国庫負担の減額調整(ペナルティ)の廃止を求める意見書

国は「常にこどもの最善の利益を第一に考える」としながらも、医療費の医療機関窓口無料化（現物給付）の実施は、安易な受診の助長につながるなどの理由から、子どもの成長を支援するための現物給付を実施している自治体に対し、ペナルティとして、国民健康保険の国庫負担金の減額措置を講じている。

こども家庭庁が創設される中、小児医療費助成制度は子どもを分け隔てることなく国の責任において全国一律の制度として構築すべきであるが、本市議会としては、「こどもを誰一人取り残さず、健やかな成長を社会全体で後押し」していくことは、国、地方を問わず取り組まなければならない大きな課題であることから、その基礎条件となる子どものすこやかな成長と子育て家庭の経済的負担の軽減を図る医療費助成について、国は地方と一体となって拡充・強化を図っていく必要があるものと考えことから、国に対し、自治体が行う医療費助成における医療機関窓口無料化（現物給付）に対する国民健康保険国庫負担の減額調整（ペナルティ）を廃止するよう強く要請する。

提出先

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 厚生労働大臣
子ども政策担当大臣 内閣府特命担当大臣（少子化対策）

令和4年9月定例会 請願審査結果

番号	件名	付託委員会	結果
第4-11号	安倍元首相の国葬の停止を求める請願	総務	不採択
第4-14号	加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充のための請願	民生文教	採択
第1-3号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める請願	民生文教	継続審査
第1-4号	介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める請願	〃	〃
第1-5号	看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める請願	〃	〃
第2-2号	治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)の制定等を国に求める請願	総務	〃
第3-1号	「75歳以上の医療費窓口負担2割化撤回を求める意見書」提出に関する請願	民生文教	〃
第3-2号	75歳以上患者負担2割化の徹底審議を求める請願	〃	〃
第3-3号	コロナ感染症から医療-公衆衛生体制の強化を求める請願	〃	〃
第3-4号	少人数教育の早期推進に関する請願	〃	〃
第3-5号	GIGAスクール構想に対応する子どもの健康管理などの請願	〃	〃
第3-6号	沖縄戦戦没者の遺骨混入土砂を辺野古新基地などの埋立てに使用しないことを求める請願	総務	〃
第3-7号	安易な「病床削減」「医療従事者長時間労働」ではなく地域・医療職場の自主性を求める請願	民生文教	〃
第3-8号	トリチウムなどの放射性核種を含むALPS処理水の海洋放出方針決定の撤回を求める請願	環境水道	〃
第3-9号	「盛り土」規制などの法整備と流域治水の事前防災について請願	総務	〃
第3-11号	コロナ陽性者の「自宅療養」をやめ臨時病院の病床増で入院治療を求める請願	民生文教	〃
第3-12号	学校などのクラスター防止と検査の充実を求める請願	〃	〃
第3-13号	介護保険の保険料・利用料の過重負担を招かない対策を求める請願	〃	〃
第4-2号	新型コロナワクチン未接種者及び新型コロナ感染対策における差別・偏見・強制を防ぐ条例等の制定または対策に関する請願	〃	〃
第4-3号	子どもへの新型コロナワクチン接種における慎重な接種を求める請願	〃	〃
第4-4号	「5-11歳の新型コロナワクチン接種の有効性・安全性が確立するまでの停止を求める意見書」の提出を求める請願	〃	〃
第4-6号	エッセンシャルワーカーの抜本的な処遇改善を求める請願	〃	〃
第4-7号	国是である非核三原則の堅持を求める請願	総務	〃
第4-8号	物価高騰に伴う悪徳商法や便乗値上げを許さぬ対応を	〃	〃
第4-9号	最低賃金の抜本的な引上げを求める請願	経済建設	〃
第4-10号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願	〃	〃
第4-12号	消費税のインボイス導入の実施中止を求める請願	総務	〃
第4-13号	「すべてのケア労働者の大幅賃上げを求める意見書」の採択を求める請願	民生文教	〃
第4-15号	新型コロナ感染症の公的責任を強める請願	〃	〃
第4-16号	労働・公務災害補償認定への努力義務の周知と認定充実を求める請願	経済建設	〃
第4-17号	原発新增設などの基本方針転換の撤回を求める請願	環境水道	〃

請願・陳情等の提出期限のお知らせ

甲府市議会基本条例に、請願者等に説明機会を設けることができることが規定されました。
このに伴い、審査までに日数が必要となりますことから、原則として定例会開会日の3開庁日前までにご提出をお願いします。

※令和4年12月定例会審査分の提出期限：11月28日（月）まで

議会日誌

7月7日(木)	正副委員長会議	9月7日(水)	会、広聴広報委員会(広報部会)
7月12日(火)	広聴広報委員会(広聴部会)	9月8日(木)	本会議(質疑及び市政一般質問)
7月21日(木)	議会制度調査研究会	9月9日(金)	本会議(質疑及び市政一般質問)
7月22日(金)	市民と議会の交流会(日本女性会議 2021in甲府の運営に携わった方々と 若者世代)	9月9日(金)	議会運営委員会、本会議(質疑及び市政一般質問、各常任委員会付託、決算審査特別委員会設置)、決算審査特別委員会
7月25日(月)	総務委員会、経済建設委員会	9月12日(月)	常任委員会(総務・民生文教)
7月26日(火)	環境水道委員会、民生文教委員会	9月13日(火)	常任委員会(経済建設・環境水道)
8月5日(金)	議会運営委員会、広聴広報委員会(広報部会)	9月15日(木)	議会運営委員会、本会議(各常任委員長報告、討論、採決)、広聴広報委員会
8月22日(月)	環境水道委員会視察、経済建設委員会視察	9月16日(金)	決算審査特別委員会
8月23日(火)	総務委員会	9月16日(金)	(土・日・祝日を除く)
8月24日(水)	民生文教委員会、経済建設委員会視察	9月27日(火)	
8月25日(木)	広聴広報委員会(広聴部会)	9月29日(木)	議会制度調査研究会、議会運営委員会、本会議(決算審査特別委員長報告、討論、採決、提案理由の説明、各常任委員会付託)、民生文教・経済建設委員会、本会議(各常任委員長報告、採決)、9月定例会閉会
8月26日(金)	正副委員長研修会	10月3日(月)	広聴広報委員会
8月30日(火)	議会運営委員会、会派代表者会議		
9月2日(金)	新型コロナウイルス感染症対策特別委員会、議会運営委員会、9月定例会開会、本会議(提案理由の説明、各常任委員会付託)、総務・民生文教・経済建設・環境水道委員会、広聴広報委員会		

12月定例会の予定

月	火	水	木	金	土	日
11/28	29	30	12/1 本会議 (開会)	2 休会	3	4
5 休会	6	7	8	9 常任委員会	10	11
12 常任委員会	13 休会	14 本会議 (閉会)	15	16	17	18

本会議の内、開会日及び市政一般質問を行う3日間はNNS(10ch)やインターネットによる中継のほか、本庁舎南側にある大型ビジョンでも放映します。



無料アプリ「マチイロ」を利用して、スマートフォンなどで、いつでも甲府市議会だよりがお読みいただけます。

※通信料は利用者負担となります。
※表示される広告の内容については、一切責任を負いません。

編集後記

7月以降、新型コロナウイルスの感染者数が、連日、過去最多を更新する中で、予定されていた行事などが行われず、「小江戸甲府の夏まつり」を楽しみにしていた皆様には大変残念な結果となってしまいました。今回の市議会だよりでは、2回の「市民と議会の交流会」の様子を掲載する予定でいましたが、新型コロナウイルスの影響で1回しか開催できず、それに伴い編集もなかなか大変でした。これから感染症の流行しやすい冬を迎えますが、しっかり感染対策をして健康に気を付けていただきたいと思います。

広聴広報委員 川崎 靖

甲府市議会広聴広報委員会

委員長：山中和男 副委員長：深沢健吾

委員：鈴木 篤 末木咲子 鮫田光一 小沢宏至 寺田義彦 植田年美 堀とめほ 藤原伸一郎 川崎 靖 木内直子

甲府市議会ホームページ・Eメール

URL <https://www.city.kofu.yamanashi.jp/shise/gikai/index.html>

Email gikai@city.kofu.yamanashi.jp



(モバイル)



(フェイスブック)